

クラウンブリッジ補綴科

歯の見た目やかみあわせで悩んでいませんか？

補綴科ではむし歯などによる部分的な歯質の欠損や、歯そのものを失った部位に対して治療を行い、かみ合わせや見た目を回復します。

クラウン(かぶせ)／ブリッジ

接着ブリッジ



部分入れ歯

総入れ歯



金属アレルギー

☆口の中に表れる症状

- ・接触(粘膜)皮膚炎
金属と直接触れる部分に現れる炎症。
(赤み、ただれ、かゆみ、痛みなど)
- ・扁平苔癬
粘膜や舌にできるレース模様の白い斑点。
かぶれや出血を伴うこともあります。

☆全身に現れる症状

- ・掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)
手のひら、足の裏にできる水泡。
- ・蕁麻疹(じんましん)
短時間で赤い斑点が現れたり消えたりするもの。

検査で歯科金属が原因と特定された場合、原因と思われる一部もしくは全ての金属を除去し仮歯で経過を見た後、**原因金属を使用しない土台、かぶせ／つめもの**をします。

顎関節症・口腔顔面の痛み

☆顎関節症とは？

“あご”の関節や筋肉の病気で、口を動かした後に“あご”が痛い、音がする、口が開きづらいなどの症状が出ます。

☆歯ぎしりが原因で...

日中や睡眠中のくいしばり、歯ぎしりが原因で歯がすり減ると言われています。かみ合わせる筋肉の筋肉痛が起こることもあります。

かぶせの破損



咬耗(歯のすり減り)

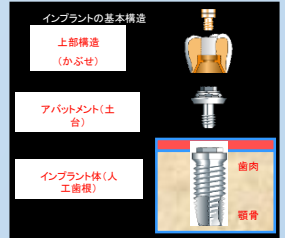


口腔インプラント治療

歯根のない欠損部の骨の中にインプラント体というチタンの人工歯根を埋め込み、その上に土台をねじ止めし、かぶせる治療方法です。取り外しが必要なく、見た目や咬む機能をご自分の歯のように回復できます。

安全に行うために診査が必要です。

- ・レントゲン検査・CT診査
- ・模型診査
- ・歯周病の診査
- ・全身状態の診査
- ・生活習慣の問診



上の前歯を事故で一本失った患者様にインプラント治療を行った症例です。両隣の歯を削ることなく、見た目も健康な歯と全く区別が付きません。

治療前

アバットメント(土台)

治療後



多くの歯を失った方も口腔インプラント治療は可能です。人工の歯をインプラント体に固定できるため、取り外しの入れ歯で困っておられる方におすすめです。

アバットメント(土台)

治療後



CT撮影等の画像診査、模型診査など十分な術前診査により適応を検討します。その後、2回の手術を経て仮歯、最終的な「かぶせ」ができます。費用は**保険適応外**となります。

—睡眠時無呼吸症候群をご存知ですか？—

☆睡眠時無呼吸症候群

睡眠中に呼吸停止が繰り返される病気です。呼吸自体が停止する場合と上気道(空気の通り道)が閉塞して起こる場合があります。昼間の眠気や異常行動が現れ、高血圧、不整脈、心不全等に影響します。

☆睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療(口腔アプライアンス療法)



睡眠中に口腔アプライアンスを装着し、下あごを前方に保持し気道の詰まりを解消します。